

# (6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

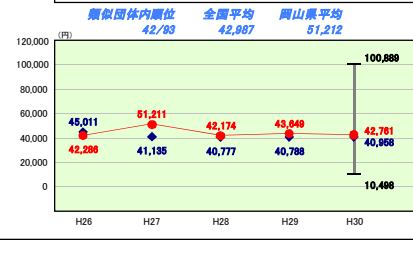
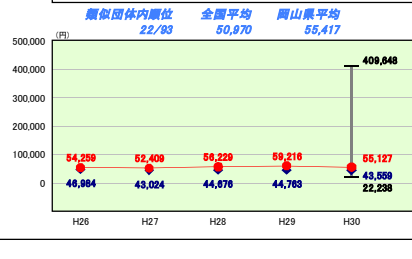
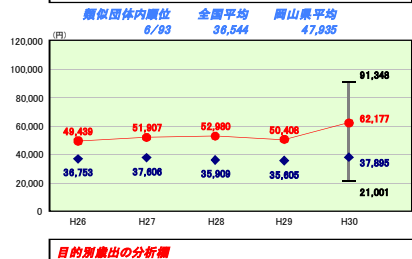
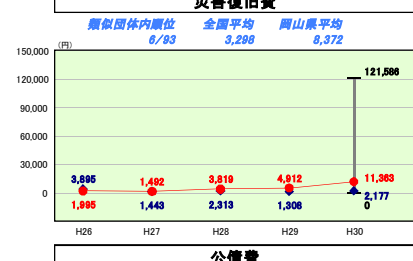
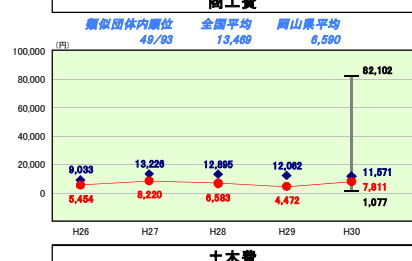
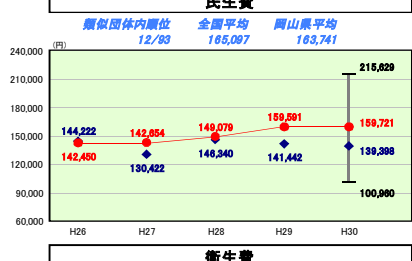
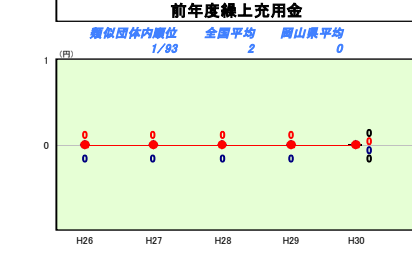
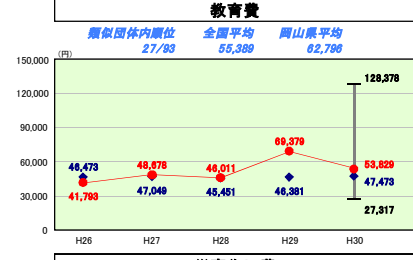
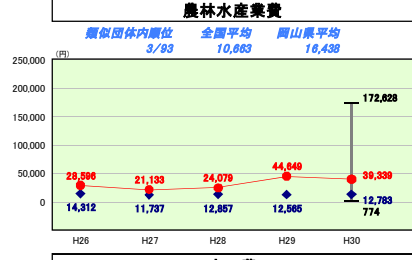
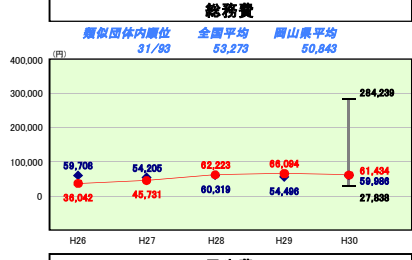
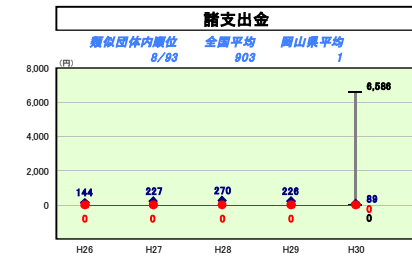
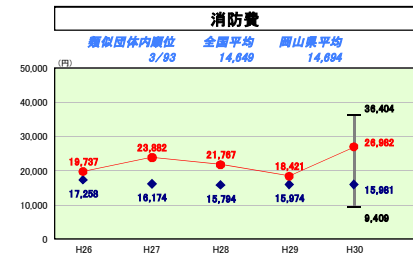
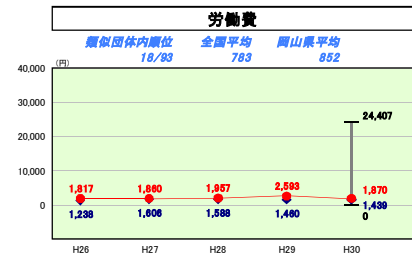
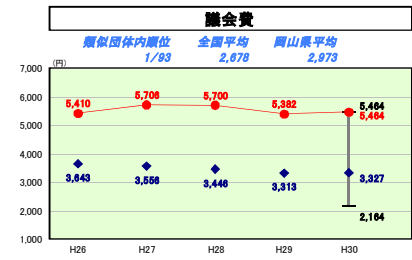
平成30年度

岡山県笠岡市

人口	48,712 人(H31.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	48,244 人(H31.1.1現在)	通算実質赤字比率	- %
面積	136.24 km <sup>2</sup>	実質公債費比率	6.7 %
歳入総額	26,488,309 千円	将来負担比率	75.5 %
歳出総額	26,713,959 千円	市町村類型	H26 II-1 H27 II-2 H28 II-2
実質収支	832,789 千円	(年度毎)	H29 II-2 H30 II-2
標準財政規模	13,076,888 千円		
地方債現在高	25,143,653 千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析**  
 議会費は議員共済会負担金などの減により前年度比0.2%減だが、人口減少の影響で1人当たりでは82円増となっている。総務費は過剰納金等還付金・選付加算金の減等により前年度比8.6%、1人当たり4,660円の減となっている。民生費は私立保育所緊急整備事業費補助金や臨時福祉給付金の減により前年度比1.6%の減だが、人口減の影響で1人当たりでは130円の増となっている。衛生費は土砂撤去助成金などの豪雨災害対応経費の増により前年度比21.3%、1人当たり11,769円の増となっている。労働費は労働者福祉センター改修事業の減により29.1%の減となっている。農林水産業費は畜産・酪農収益力強化設備等特別対策事業の減により前年度比13.4%、1人当たり5,310円の減となっている。商工費は工業団地造成事業特別会計繰出金増により前年度比71.8%、1人当たり3,339円の増となっている。土木費は大規模修繕・更新事業等の減により前年度比8.5%、1人あたり4,089円の減となっている。教育費は学校給食センター建設事業減により前年度比23.7%、1人当たり15,550円の減となっている。災害復旧費は土木施設・農地農林災害復旧事業の増により前年度比127.5%増、1人当たりでは6,451円増となっている。